

議 長 日程第5「一般質問」に入ります。

一般質問は通告順に行います。受付番号第1号、利根川茂君の一般質問を許します。登壇願います。

7 番 利 根 川 議長のお許しをいただきましたので、ただいまより一般質問に入りますが、ちょっとその前にですね、一言私の意見を述べさせていただきたいと思います。

先ほど町長の行政報告の中で、職員を自衛隊体験入隊をさせたという報告がありまして、公的に私は初めて町長からそういうお話をいただきました。この問題についてはですね、町長がお生まれになる1年前、昭和43年、足柄上郡町村長会主催でですね、上郡の各町職員の新任職員研修ということで、御殿場の駒門駐屯地に採用された男子職員の体験入隊をさせて大問題になった経過があります。昭和43年7月です。これはですね、当時神奈川新聞に大きく取り上げられて、国会の参議院、地方行政委員会でも野党議員が当時の自治大臣に対して非常に追及をされたという経過がございます。ですから、私はこの問題は黙って過ごすわけにはいきませんので、来年の3月議会の一般質問に質問をさせていただくつもりでございますので、総務課長以下、その辺の経過を十分調べておいていただきたい。論戦をしたいというふうに思います。これは余計なことでございますけれども、ちょっと述べさせていただきました。

それでは、一般質問に入ります。第1号、質問議員第7番 利根川茂。件名、介護の担い手の育成支援を！

松田町の高齢者比率も30%を超え、介護需要もますます多くなっている時代です。

かつては、町社会福祉協議会において、ホームヘルパー2級の養成講座も開催されておりましたが、現在では①介護職員初任者研修、②介護の実務者研修などの制度も変わっております。この講座を受講するにも、多大な費用と時間がかかります。

介護の担い手を育成するために、講座を受けられる方々への助成が必要と思われまます。町長のお考えをお聞かせください。よろしく申し上げます。

町 長 それでは、利根川議員の御質問にお答えをさせていただきます。答えの方法は起承転結とあるんですけども、とにかく結からお話をさせていただきたいと

思います。

この質問をいただき、経常としていつも人材育成というものはずっとお話をさせていただき、私自身も職員といろいろ話をしているわけなんですけども、この、これからの高齢者人口の推移を見ますと、非常に利根川議員が御指摘のように、介護を担っていただく方々が年寄りにもなっていくし、若い方を育てていかなきゃいけないということについては、我々も急務であるというふうに思っております。

そんな中、各ほかの市町においても、御提案いただいたようなことを取り組んでいる町もございますので、我々としてもそういった人材育成についてやっていく。そんな中、町としてやらなきゃいけないことと、県の取り組みがあったりするので、県の取り組みと一緒に相互連携をしながらやっていかなきゃいけないというようなこともありますので、その辺は連携しながらですね、制度化を図ってまいりたいというふうに思います。

じゃ、それをいつごろまでにやるのかという話になろうかと思います。その件に関しましては、もう早急にというふうに我々も認識しておりますので、予算の関係をこれから組むわけでございますけども、少しずつですね、一遍にというわけにいかないですけども、予算の範囲の配分を考えながら来年度から、当然、制度化が先になってきますけども、制度化しながら可能な範囲で来年からできるところは手をつけてまいりたいというふうに考えております。以上です。

7 番 利 根 川 非常に簡単な、簡単明瞭なお答え、ありがとうございます。ただいま、来年度予算の編成中だと思いますけれども、私は介護保険特別会計か、あるいは一般会計の包括支援センターの予算計上の中にですね、これらに必ずや、非常に短い私の質問と同じように短い答弁でございましたので、町長の腹の中ではそういう決意を固めた。その2つの予算どちらかに予算計上されるという決意を固められたというふうに理解をして、私の一般質問は終わります。以上。

たった5分でしたけども、当初、議会運営委員会委員長に要らぬ質問をいたしましたので、この辺で全体の時間調整をさせていただきたいと思います。

町長、そういう決意でよろしいですね。

町 長 今、予算編成中でございますので、そういうことを含めながら、予算の範囲
で対応してまいりたいというふうに思います。

7 番 利 根 川 どうもありがとうございました。失礼しました。

議 長 以上で、受付番号第1号、利根川茂君の一般質問を終わります。
それでは、暫時休憩といたします。10時より再開いたします。（9時45分）